

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) オカネツ工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒704-8161 岡山市東区九幡1119-1	
本票作成	部署名：人事勤労部				
主たる業種	分類コード	24	業種名：金属製品製造業		
事業の概要	小型農業機械及び動力伝達装置製造、金属熱処理及び歯車加工				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	1	本社/本社工場		岡山市東区九幡1119-1	
	2	今保工場		岡山市北区今保108-3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      2                      所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

計画期間	平成 24 年度		～	平成 26 年度 ( 3 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準			3.0 %				
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 23 年度)			目標年度 (平成 26 年度)					
	6,202 t CO <sub>2</sub>			6,016 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 23 年度) の排出量					
	1	本社/本社工場		4,998 t CO <sub>2</sub>					
	2	今保工場		1,204 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 加工高	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		488.5 t CO <sub>2</sub> / ( 億円 )	473.8 t CO <sub>2</sub> / ( 億円 )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 23 年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネルギー法に定める消費原単位の削減目標 (毎年1%以上) を設定の基準とする。現状、総エネルギー使用量に占める買電の比率が最も高く、電気のCO<sub>2</sub>排出係数変動が全体に及ぼす影響が大きい。当面の管理可能な指標としては、電力を中心にエネルギー総使用量の削減に重点を置き、毎年の消費原単位 (原油換算値÷加工高) 削減目標を確実に達成する事が、CO<sub>2</sub>削減に繋がるものと考えている。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

省エネ委員会（事務所、工場、倉庫の3部会代表及び各部門選出の委員により構成）の定期（月次）開催によって施策の実施及び検討と進捗状況をフォロー。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
本社／本社工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドコントローラーによる警告表示とエアコン電源の連動</li> <li>・生産情報共有化によるデマンドピーク調整</li> <li>・冷暖房設定温度の遵守</li> <li>・コンプレッサー等圧縮空気配管系統の漏れ防止徹底</li> <li>・不要照明の消灯及び減灯の徹底</li> <li>・自然換気奨励によるエアコン稼働時間の短縮</li> <li>・工場内の暖房用灯油使用を抑制（遠赤ヒーターへの切替）</li> <li>・社屋（一部事務所棟）の天井及び窓の断熱・遮熱対策実施</li> <li>・エアコン及び加工機械へのインバーター取付推進</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
本社／本社工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明の導入推進</li> <li>・省エネ対応空調機器への更新</li> <li>・社屋の遮熱・断熱対策推進</li> <li>・生産機械の省エネ化推進</li> <li>・熱処理設備等からの排熱再利用検討</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無
その他	無

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無
その他	無

**【その他特記事項】**

今保工場については、既に燃料転換（灯油⇒都市ガス）を行っており、また、常勤従業員が4～5名（夜勤交代含む）と極端に少ない。生産設備（連続熱処理炉）の燃料が占めるCO2排出量が多く、費用対効果の点で実施可能な施策は限られる。